

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
顎	ターザンロープ	ターザンロープで他児が遊んでいた。 ターザンロープ用の椅子に本児が立っていると、戻ってきた他児とぶつかり、椅子から落ち椅子であごを打つ。 テーピングで様子を見る。 処置してもらった次の日には傷もくっついており、テーピングも剥がれていた。痛がる様子もなかった。	山口労災病院	友達が遊んでいるときは椅子の上やぶつかりそうなところには立たないように声掛けしておく。 大人も注意しておく。
顎	ターザンロープ	18:30頃、迎えが来たので引き渡した後に、園庭で遊んでおりターザンロープから落下して、踏み台で顎を打ち出血。 顎を1cmほど切り、口の中も切れていた。 母が病院へ連れて行く。 縫合はせずテープを貼って次の日から登園した。	山口労災病院	お迎えが来て降園したたとも園庭で遊んでい帰る子が多いので、保護者にも安全に気をつけるよう声掛けをすることが大切だと感じた。
足	ウッドデッキ	外遊びから部屋に入る際、靴下で滑り、ほしぐみ入り口の棧で左膝に打撲と深い切り傷を負う。 その日はカットバンを貼って降園する。母が「傷が深いため受診が必要」と判断し、翌日受診する 毎日消毒し、膝を曲げないように包帯で固定して過ごすこととなった。	今村皮膚科形成外科	靴下を履いているときは滑ることもあることを知らせていく
足	トイレ	戸外からの入室時、トイレに行ってスリッパを履こうとしたらムカデが出て、右足の腹を刺される。 流水で処置して噛み口の確認をしたが、分からなかった。 少し腫れがあるようなので、念の為受診する。 人によって症状の出方が違うので、いま症状が無くても、すぐに出るかもしれないという診断だった。 かゆみ止めの塗り薬と飲み薬を処方されたが、翌日全く症状がないため、薬を中止する。	新生皮膚科	ムカデが出る時期（6月中旬）なので、トイレスリッパや靴を履くときには注意する。子どもにも注意するように伝える。
足	ウッドデッキ	ウッドデッキで本児が遊んでいる際に、散歩から帰ってきたもぐみの子どもが靴をロッカーに入れ、傍にあった木製のパーテーション（車輪のついた可動タイプ）を押したところ、それが倒れて左足（くるぶしと膝の間）を強打する 両足のレントゲン撮影を行い、左足の腓骨（すねの骨）に圧迫されたときに付いた凹みがある。ソフトギプス（右の裏からふくらはぎにかけて）をする。 安静にして足を使ってはいけないと医師の支持があったので、通院してしばらく様子を見た。 ギプスをしてから完治までおよそ4週間かかった。	山口労災病院 2回目から松岡整形外科	がっしりしたパーテーションで倒れることはなかったが、何があるかわからないのでロープで固定しておく。 また、子どもには触れさせず、保育者が開閉をするべきだった。 担任の目が届かないときは、側にいた保育者が安全に配慮するべきことだった。 それからすると回避できた事故だったと思う。
足	ほし室内	左足親指の外側部分の爪の角が欠けて剥がれかかっていた。 消毒をしながら経過を見ていく（飲み薬の抗生剤を処方される） そのうちに新しい爪が再生されるとのことで、様子を見る。	新生皮膚科	—
足	ランチルーム	おやつ時間終了後、椅子を片付けるときに本児が椅子の脚で自分の左足小指を踏みつけてしまう。 内出血で紫になり痛がる。氷で冷やし、湿布を貼って様子を見る。 怪我のあと歩き回り普通に遊んでいたが、腫れが引かないので保護者に伝えて、状態によっては病院受診を依頼する。 保護者が病院を受診したところ、骨に異常はないが腫れが酷いため固定してもらう。その後は痛がる様子もなく過ごしている。	不明	何事にも「早く」「先に」という思いがある子なので、次の行動に対して落ち着いて行動できるように声をかけていこうと思う。
足	雲梯	戸外遊びの後室内に戻る際に足を引きずっていた。 被害児に聞いたところ、「雲梯のアスレチックの一番上からジャンプした」と答えたが、保育者はその状況を見ていなかった。 捻挫と診断され、4～5日は湿布を貼って様子を見ることにした。	松岡整形外科	園庭全体を気をつけて見る。危険なことをしている子どもや高さがある遊具の側には保育者が必ずつくようにする。

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
足	園庭	戸外遊び中に転倒し右足の甲を痛めたようで泣いていたが、腫れなどは無かったため、湿布を貼って様子を見た。 事故は11:00頃に発生したが、昼を過ぎても痛みがあるのか足を引きずっており、おやつ後も引きずっていた。 対応が遅くなり、母の迎えと重なってしまった。 病院では打撲ではないかと診断された。帰宅後は足を痛がることもなく過ごしていた様子。	おもて整形外科	自分たちで勝手に判断せず、上の先生にすぐに相談することが大切。
足	もも室内	おやつ前の室内遊びの時他児と追いかけてこをして、畳の縁に躓いて転倒。左足親指をねん挫した様子。 しばらくは遊んでいたが痛がって泣き始め、腫れ始めたため病院を受診する。 骨に異常なし。幼児は軟骨が多いので分からない部分もあるが、様子を見て変わったことが無ければ大丈夫とのこと。 次の受診指示はなく、シップ等の処置も無し。	岡野整形外科	—
足	外手洗い場	戸外遊び中、外の手洗い場（つきぐみ前）より飛び降りて左足をねん挫。 靭帯を痛めたため、ギプス処置。 全治2～3週間	瀬戸病院	2006年度の事故
足	アスレチック遊具	夕方の戸外遊び、アスレチック遊具の登り棒から降りたときに捻挫する。 湿布を貼って処置のみ。	山口労災病院	2006年度の事故
頭	アスレチック遊具	すべり台のロープ階段裏を通る際に、出っ張っている金具に頭をぶつけて出血した。 頭頂部に5mm程度の傷があり、出血していたものの受診時（45分後）には止血しており、傷の消毒のみで様子を見る	山口労災病院 （脳神経外科）	不注意で起きてしまった。 遊具の点検をこまめにする。 出ている金具の修理をする。
頭	ほし室内	昼食後室内遊びの時間に絵本コーナーの子ども用ソファに3名の園児が座っていた。 一人の園児が被害児を抱っこしていたが、おそろとしたときにバランスを崩し、被害児が後頭部を床に打ち付けた。 事故発生時は担任がトイレの介助についていたため、事故は目撃していない。 抱っこしていた児が被害児に「先生に言わないで」といったため、認識しないまま降園させた。 風呂で頭を痛がったことから傷に気が付き、小児救急に電話相談し、次の日病院を受診する。 事故後すぐに受診していれば縫合などの処置が出来たが、時間が経過していたため何も処置ができなかった。 病院受診後に保育園主任あてに電話があったが不在のため副主任が対応した。 抱っこをした児の保護者にも伝えてほしいと被害児の親が連絡ノートに記載していたため、その旨を伝えた所電話で謝罪したいと申し出があり、保護者同士が直接話をした。		被害児の主張：3人のうち、抱っこしていない児と遊ぼうと思ったが、抱っこをした児が「行くな」と抱っこをしたが、うまく出来ずに手が離れてしまった。 抱っこした児の主張：膝に被害児が座っていて「のいて」と言っても動かなかつたため、横に移動させようと思い、抱っこをしたときに落としてしまった。
頭	ゆり室内	ブロックで遊んでいた際、おもちゃの取り合いになってブロックで頭を叩かれる。 角が頭に当たり出血もあったので止血をする。 病院では消毒のみの処置。合計4回消毒のため、通院する。	井上医院	側にいなかったため止めるのが間に合わなかった。よく状況を見て気をつけたい。
頭	園庭自動車	鬼ごっこ中に別児がタッチした際、バランスを崩し汽車の遊具の先端で後頭部中央を打ち付け、1cmほどの傷が出来た。 すぐに起きて泣いていたため、処置し病院を受診する。 消毒とホッチキス1針で縫合する。 1週間後に抜糸する。 翌日は傷の痛みにより眠れないため欠席するも、翌々日には元気に登園する。	山口労災病院 （脳神経外科）	—

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
頭	側溝	戸外遊び中、園庭東側の側溝に落ちて右前東部にたんこぶが出来る。 山口労災病院は手術中で受けてもらえなかったため、母親の許可を得て井上医院を受診する。 CTの結果異常はない。翌日元気に登園した。	井上医院	—
頭	園庭汽車	園庭汽車の後方（高さ70cm）から飛び越えようとしたが、足が引っ掛かったようで落ちて泣いているのを発見する。（9:15頃） 側頭部に土がついており、左の頬には小さい擦り傷があった。 しばらく泣いていたが、2回戻し昼食の摂取量は少ない。 すぐ午睡に入る。目覚めは悪くなかったが今一つはっきりしないので、念のため受診する。（15:30頃） CT撮影で異常なし。 翌日は元気に登園した。	山口労災病院	—
頭	不明	ロッカー下で後頭部を切る。 4針縫合する。	山口労災病院	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
頭	不明	頭、1針縫合	山口労災病院	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
頭	不明	後頭部打撲	山口労災病院	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
頭	不明	後頭部打撲	山口労災病院	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
頭	不明	夕方の戸外遊び中、すべり台の縁をまたいでいた所、押されて1.3mほどの高さから転落（15:35頃）。すぐに泣いて意識もはっきりしており、たんこぶも赤みもなかった。吐き気等もなかった。 背中からストンと落ちた形で酷く頭を地面に打ち付けたわけではなかった（保育士が事故の瞬間を見ていた）。 念の為保護者に連絡し、受診する。 医者はCTを取るほどではないのでは？と渋るが、頼んでCTを撮ってもらったが異常なし。 被害児父親に経緯を説明すると、加害児への指導を要請される。 翌日別件で被害児が頭を打ち付ける事故があったため、保護者から苦情が入る。	山口労災病院 （脳外科）	2006年度の事故
頭	不明	夕方の戸外遊び、長靴でグローブジャングルに乗り、手が離れて振り落とされ、後頭部を打つ。 続きで遊びたがる様子だったが、念の為受診する。	山口労災病院	2006年度の事故
頭	園庭	入室前の鬼ごっこのとき、別児と衝突し転倒、後頭部を打つ。 帰宅後嘔吐したため母と受診する。CT撮影で異常なし。	山口労災病院	2006年度の事故 保護者が病院を受診させる。
頭	アスレチック 遊具	アスレチック遊具の階段から転落。後頭部を打ち赤くなる。 誰も事故の瞬間を見ていなかったため、念の為脳外科を受診。レントゲンの結果、異常なし。	山口労災病院 （脳外科）	2007年度の事故
頭	汽車	汽車の先端に寄りかかっている、バランスを崩して後ろ向きに転倒。 左側頭部を打ち、コブはないものの少し赤くなるため、念の為受診する。 レントゲンの結果、異常なし。	山口労災病院 （脳外科）	2007年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
頭	三角山	三角山の三段目からすり抜けて落ちてしまい、下のベンチ部分で後頭部を打つ。 念の為受診するが、診察のみで処置なし（問題なし）	山口労災病院 （脳神経外科）	2007年度の事故
頭	不明	鬼ごっこをしていてインターロックで転倒。前頭部にコブができる。念の為受診。 山口労災病院では対応出来ないと言われ、山陽小野田市民病院では脳外科がないため、井上医院を受診する。 その後の経過は不明。	井上医院	2009年度の事故
頭	不明	積み木で遊んでいるときトラブルになり、男児の振った積み木の角が頭に当たり少し切れる。 母に見てもらい、念の為父が受診したが、消毒だけで問題なし。	あさひクリニック	2009年度の事故
頭・額	側溝	夕方の戸外遊びの後、ゲームで鬼ごっこをしていた。 一番低い鉄棒付近を被害児が走っていた所、足が絡まり転倒。その際、近くにあった側溝に左おでこを打ち付け、2cmほど横に切れる。 その日雨は降る予定ではなかったが、被害児は朝から長靴を履いてきていた。 左おでこ傷口付近を部分麻酔し2針縫合する。経過は良好で6日後に抜糸予定。 ※事故が起きたのは木曜日の夕方だったため、当番医のところに受診しなければならなかった。	久保整形外科 （厚狭）	長靴を履いている子がいるときには、鬼ごっこではなく、危険を予測したゲームをしていく
頭・額	スケーター	戸外遊び中、スケーター（タイヤ付け根部分）が当たって額を切る。 1針縫合する。 後日の消毒処置は別の病院で行う。	山口労災病院、 小林外科	2006年度の事故
頭・額	グローブジャングル	グローブジャングルで額をぶつける。たんこぶなし、少し青くなる。 嘔吐やごろごろする様子もないため、母親に降園後電話で伝える。 帰宅後、子どもは母親に「人に押されて落ちそうになったとき打った」と伝える。 事故の日の夜それがおかしくなり、首と頭がいたいと親に訴える。 翌日本児より頭が痛いと聞くが、その後1～2度訴える事があった。嘔吐無し、食欲あり、元気あり、ゆっくり過ごしている。 事故翌日に母が病院を受診しレントゲンを撮ったが異常なし。容態が急変したときには山口労災病院へ行くように診断書を預かる。 事故2日後、足が痛い、食欲が少しずつ落ちる、目の下に内出血の青あざが出来る。 事故5日後、朝に母親から状況確認の電話が入る。 事故6日後、保護者は山口労災病院を受診し、MRを取ることを決める。 事故後保護者から「すぐに大きな病院に連れて行ってあげればよかったかもしれない」との手紙を受け取る。	山口労災病院 （脳神経外科）	2007年度の事故
頭・額	アスレチック遊具	アスレチック遊具踊り場より転落（高さ約3m）し、右額を強打する。 事故の瞬間を見た職員はおらず、音で気付く。	山口労災病院 （脳外科）	2008年度の事故
頭・額	外手洗い場	午後の戸外遊びに出る際、グリーンマットの角に躓いて転倒。外手洗い場で額（右眉上あたり）を打ち付け腫れができたため受診する。 CTの結果異常なし。	山口労災病院 （脳外科）	2008年度の事故
頭・額	草スキー場	草スキー場で朝、虫を追いかけ転倒したところに石があり、頭を1cmほど切り出血有り。 CTを取るが異常なし。傷も自然に治るため処置なし。	山口労災病院 （脳外科）	2008年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
頭・耳・腕	園外	散歩中に犬を見ながら歩いていた所、高さ1m程度のところから転落した。 左側の頭部、耳、腕を打撲した。 CTの結果頭部に異常はなし。左耳の内出血と擦り傷は翌日腫れることもなかったようで、当日の昼から元気も戻り食欲もあった。	山口労災病院	フェンス等がない場所で全体が右側によっていたときに危険を予測し、十分に配慮するべきだった
陰部	園庭	戸外遊びのときにボールがツツジとフェンスの間に入り、そのボールを取るとき、足元の枝につまずく。 右睾丸が枝に当たり、3cmぐらいの擦り傷が出来た。 消毒とカットパンで処置する。 皮膚の擦り傷のみで他に異常なし 病院から戻ると走ったり縄跳びをしたりと元気に過ごし、痛がる様子も見られなかった。	わたなべ泌尿器科	事故防止のため、躓きそうな木・枝を切った
陰部	不明	陰部打撲、少し出血あり	伊藤産婦人科	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
陰部	つき室内	食後ふざけていて男児が本児の陰部をキックした。 傷が付き出血したため、わたなべ泌尿器科を受診したが、山陽小野田市民病院へ回される。 市民病院での診断では仮性包莖が向けた状態なので心配ないとのこと。塗り薬と抗生物質で対応。	わたなべ泌尿器科、山陽小野田市民病院	2010年度の事故
顔	ロープウェイ	他児がロープウェイに乗っているところに三輪車が入り、ロープウェイの木の部分が顔に当たる。骨に異常がなかった（事故直後には腫れがなかったため、骨には異常がないと判断した）ので、傷口に薬を塗って様子を見た。 事故翌日になると打ったところが少しアザになっていた。 事故2日後の朝、アザがひどくなったため、祖父が病院に連れて行ったが異常なしと診断され薬は処方されなかった。		朝の伝達のため、保育士がロープウェイから離れた間の事故だったが、その間はロープウェイを中断するなどの工夫が必要だった。
顔	園庭	戸外遊びの時のトラブルで男児が本児の顔（鼻から目の下にかけて3本）に引っかき傷をつける（保育士1名が現場で関わっていた） お迎えの際に母に謝罪したところ、母は理解してくださった様子ではあったが、「父親がなんというか分からない」と言われる。 その時父親は車で待っていたのにも関わらず、父から園に電話が入り、現場で関わった保育士が状況説明をしたが、やくざ口調で相手の親を非難する。 駐車場で加害児の母が被害児の母に泣いて謝罪していた。 母だけの謝罪では許せない、両親が向ういて謝罪するのが筋であると被害児の親が主張し、園を責めるつもりはなく、加害児の親に謝罪の件を伝えるよう依頼される。 主任保育士から被害児父親へ電話を入れ、「園で預かっている以上、親に責任を問うことはできないので、園からの言い訳はできない」と伝えた。被害児父からは「カッとなりやくざ口調で強く言ったことは申し訳ない。園には良く見てもらっているのがありがたい。加害児ともども、平等に見てもらいたい」と謝罪があった。 その後、父よりも母のほうが許していない様子。被害児がももぐみの時から2回続いたことに立腹している。副園長が謝罪すると、「3回目があると困る」との返事があった。	—	
肩・頭	砦	砦の1階のところで遊んでいて、友達の話を聞こうと横から覗き込もうとしたときに、1mぐらいの高さから転落し、肩・頭（右側）を打った。 事故後24時間ないし、2～3日本人の様子を見る。 事故直後は本人も同様し、顔面蒼白だった。数分後には顔色も戻った。保育士が把握できる外傷は無かった。	山口労災病院	保育士が離れた場所からだったが事故の瞬間を見ていて速やかに対応できていた。 危険の可能性がある場所や遊び方等、子どもたちに伝えていく。 細かな対応をしていかなければならない。

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
薬の入れ間違い	薬の入れ間違い	ゆりぐみ帰り支度の際に塗り薬を塗布し終えた後鞆にしまう際に、隣の鞆に入れてしまった。 保護者が帰宅後に間違いに気づき園に持参させる結果となった。 塗り薬の持ち主には送迎時間に間に合った、返却できた。		確認をして安心するのではなく、もう一度確かめるようにすればよかった。 土曜日だったため、遅番の職員に迷惑をかけるよりカバンに入れておいたほうが忘れずに済むと思ってしまった。 子どもが鞆に触れる時間帯ではなく、帳面入れに薬が入っているという保護者への伝言で大丈夫と思ってしまった。
薬の間違い	与薬誤飲事故	担任2名が食事の介助をしていた。 担任Aのテーブルの食事を終えた女児が前日まで昼食後の薬があったため、「今日も薬がある」ことを伝えてきた。 確認をするため、担任Aはその場を立ち、薬の置き場所のボードへ向かうと、1つだけ薬袋が置いてあり、それを持ってテーブルへと戻った。実はそれは別児の薬だった。 担任Aは「この与薬袋は薬があることを伝えてきた女児のものだ」と思い込み、与薬票の確認をせずに、当該児に服用させた。 数分後、本来飲ませるべき別の児（担任Bが介助）の薬が残っていないため、薬の誤飲が発覚した		食事前に薬を服用させる必要がある児の確認を行わず、与薬の容易もしていなかった。 最大の問題は薬袋を見ただけで勝手に与薬対象ではない児のものだと思い込んだこと、服薬前に与薬票の確認を怠ったことと与薬票の1つ1つの確認をきちんと行うべきだった 朝、薬を受け取った後、誰がいつ飲む薬があるのかを職員間で共有しておく。 食事前には必ず薬の準備と与薬票1つ1つの確認を行い、服用時にもう一度確認し、その子の名前を呼名して服用させる 薬置き場のボードには名前が見えるように貼っておく
薬の間違い	与薬誤飲事故	昼食後2名薬があり、そのうちの1名（A）が先に食事を終え、排泄に行った。 その間にもう1名（B）が保育者のところへ来たので、手に持っていたAの薬をBに飲ませた。 その後も気付くこと無くBの薬をBに飲ませた。直後に気づいて水を飲ませて病院に電話したところ、大事には至らないとわかった。		薬を飲ませる際によく確認せず飲ませてしまった。 薬の誤飲は命にかかわることもあるので、今回の誤飲事故を忘れずに、今後は与薬票の名前、本人の顔をしっかりと確認する。
薬の間違い	与薬誤飲事故	保育者Aのテーブルで薬を服用する男児が食事を終えたので、保育士Bが保育士Aに薬を手渡したが、それは別の園医の薬だった。 受け取った保育士Aは与薬票の園児氏名を確認せず、男児に服用させた。 数分後本来飲ませるべき男児の薬が残っていたため、薬の誤飲が発覚した。	—	自分で薬の用意をしなかったこと、与薬票の園児氏名の確認をきちんと行わなかったことが最大の原因。 薬は自分で用意し、服用前には与薬票の一つ一つの項目を声に出しながら確認すべきだった。 与薬票を入れる袋、薬に記名したり、薬の置き場には名前が見えるようにしておき、誰のものか分かりやすいようにしておくべきだった。 朝薬を受け取った後、誰がいつ飲む薬があるかなど職員間で声を掛け合い共通理解しておく必要がある。
口	ブランコ	ブランコの周りを囲むロープの柵に足が引っかかり転ぶ。 ロープを結ぶ木で右下口唇を強打し、切り傷が出来た。血はすぐに止まったが、傷口が広がったため、通院する	山陽小野田市 民病院 口腔外科	日頃から事故が起こりやすい場所を再度点検する。 子どもたちにも危険な行動を伝えていく
口	アスレチック 遊具	滑り台の網目状のはしごを登る途中で手を滑らせて、はしご側面の木の節目に右上口唇の横を打ち、切り傷ができた	—	一部の木の出っ張りにより思わぬケガを招いてしまった。少しの可能性もありうることがわかった。

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
□	スケーター	スケーターを押しながら追いかけてこをしているとき、後ろを向いて進んでいたため足を取られて転倒した。転倒する際にスケーターのハンドルで口唇を打ち、歯と挟む形となったため、口唇から大量出血した。血が止まらなかったため、氷で冷やししながら通院する。歯に問題は無かったが、消毒し化膿止めを処方される。	おくはら歯科医院	スケーターのハンドル部分をカバーする部品が剥がれかけていたため、こまめな遊具の点検が必要と反省した
□	園庭	戸外遊びの際に、遊具で遊んでおり、誤って転落したようで泣いているところを発見した。口の周りを擦りむいていたため、洗って消毒し、そのことを母に伝えて降園した。翌日登園したときに、昨日の転落のケガが口の周りだけでなく、前歯が欠けているようだと言えられる。確認した所、欠けており母が歯科に連れて行くことになった。神経に異常はないことがわかった。児が小さいため歯科に慣れておらず、このまま様子を見ることにする。	不明	転落した際、口の中まで見ておらずケガの確認が不十分であった。転落死内容、職員同士が声を掛け合っけて子どもたちを見守ることと、怪我をした際は細かいところまで確認し、処置をしたり保護者へ伝えることが必要であった。
□	インターロック	友達に砂をかけた後、追いかけて後ろを気にしながら逃げていたが、足がもつれて転倒する。 上唇小帯の消毒と歯のケア 上前歯右側2本を打撲しているため、2週間後再受診6ヶ月間は様子を見る	嶋本歯科医院	インターロックでは走らないことを伝えていく
□	ばら室内	棚の横にあった牛乳パックで作った台で遊んでいた所、足を踏み外して棚で口の中（上唇小帯）を打って出血した。切れた上唇小帯は元には戻らないが、成長する上で問題はないとの診断。腫れる場合は再度受診が必要。食事などの際、痛むことはない様子。	山陽小野田市市民病院	歩行が盛んになり、よく動く時期なので危険なところが無いように大人が近くについて、すぐに手助けしたり、安全に過ごせるように心がける
□	グローブジャングル	グローブジャングルの中に入ろうと一番下の横棒を持って落ちようとした際に手を滑らせ、グローブジャングルの床面で口を打ってしまう。唇上下と歯茎（前歯上）から出血 前歯にヒビが入っていたようで、ヒビの部分埋めてもらう処置を受ける	不明	母親の希望もあり、心配な怪我の際はすぐに母親へ連絡し、知らせようとする。
□	ばら室内	食後、部屋の隅にあるおもちゃ棚につかまり立ちをして遊んでいた。きげんも良く離れたところに他児2名がいたが、それぞれが1人で座っていた。つかまり立ちの手が外れ、おもちゃ棚で口を打ったと思われる。打った瞬間は見えないが、側に行くと口から出血していた。上唇小帯の歯の付け根部分の裂傷。縫うほどの傷ではないため、止血のため1～2日テープで圧迫し止血する。翌日完治	山陽小野田市市民病院（歯科）	—
□	ブランコ	ブランコから飛んでおり、ブランコの周囲を囲っている木の杭で下唇と端のあたりを打撲する。下唇と上の歯茎から出血あり。歯がグラグラしていた。上の歯は乳歯のため、自然に抜けるのを待つとのこと。時間が経つと腫れるかもしれないので、翌週また受診するように言われる。園に戻った後は普段どおり過ごした。	おくはら歯科医院	ブランコから飛んで降りてはいけないことと、遊具の使い方についてもう一度確かめる必要があると思った。
□	ゆり室内	遅番保育時にゆりぐみの部屋で遊んでいたとき、ダンボールトンネルから出たところ、他児の足に躓いて転び、棚で唇を切る（口角のあたり） 傷が深いため縫合する。 後日、前歯が欠けていることに気づき、歯医者を受診するが欠けたのが事故の際なのか不明だった。6ヶ月間毎月検診を受けメンテナンスする	山口労災病院（外科）	歯医者の治療費の件で欠けている部分の治療だけの支払いをお願いしたが、全てその治療ということで園が費用負担する（事故との関連は明確ではないが、6ヶ月間の検診全てを園が負担したということか？）

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
□	もも室内	戸外に出る前、絵本→名前呼び・帽子を取りに行く際にこけて手洗い場の踏み台に口をぶつけて口内から出血。 特に走っていたわけでもない。 出血はすぐに止まったが上唇小帯を切る。 ぶつけた直後以外は痛がる様子もなく、食事も普段と変わりなく取れた。 念の為受診するが、特に処置はなく、ぶつけた部分が2日ほど腫れるかもしれないということだった。	山陽小野田市 民病院	転けた先に段差があると危険だと通関士、こけやすいところは周りの環境設定を整えられる環境であれば改善していきたいと思った。
□	もも室内	床におもちゃ等は無かったが室内移動中に転倒。 保育士はその状況を見ていたが少し離れていたため止める事ができず、テーブルで唇をぶつけて内側を深く切る。 すぐに止血したところ、出血はすぐに止まったが傷口が深いため受診する（下唇内側） 傷口が深いため、4針縫う。	山陽小野田市 民病院	通路、遊びのコーナーなど、空間を広く取れうようにしていき、おもちゃが散乱しているときには子どもにも声をかけ気づかせながら大人が片付けていくように常に気をつける。
□	ゆり室内	戸外から部屋に入った際、畳の段差に躓き転倒する。 倒れたところにあつた木の箱の角で口をぶつけて下口唇が切れた。 鞆を持っていたため、手は出なかった。 傷が深く無かったため消毒のみで薬もなく処置終了 唾液腺が傷ついていたら口唇が腫れるため、しばらく様子を見る。	山陽小野田市 民病院（口腔 外科）	子どもの通る通路に危険がないか予測したい。
□	つき室内	昼食後、ロッカーから歯磨きのために手洗い場まで小走りしていく途中で滑って転倒。机と椅子に倒れ込み自分の歯で口の中を切る。 うがいをさせて止血をする。傷の様子から病院を受診する。 下唇（中央）の内側、表面を1針ずつ縫合。 麻酔で眠ったまま両親と帰宅したが、夕方には目覚め痛みもなく機嫌よく夕食を取る。	山陽小野田市 民病院	靴下を着用していた。滑り危ないことが予想される。
□	不明	口の中にはめる装具の金具（上の歯の左犬歯にかかる針金）を飲み込んでしまった。朝父親がはめたときにはあったが、当園中～ 昼食前の間に金具が壊れて飲み込んでしまったと思われる。 昼食前に外すときによく確認せず外してしまったので、発見が遅れた。 レントゲンで腸に金具が写っていたので便と一緒に排出されると思われる。 翌日便と一緒に出たと報告を受けた。	山陽小野田市 民病院（小児 科）	医療器具を預かっているという意識が薄かったため、今回のような事故につながってしまった。 保護者がどういう気持ちで預けているのかしっかり考え、再度このような事故が起こらないよう、注意していきたい。
□	砂場	手押し車に座って前に進もうとし、バランスを崩して前へ倒れ砂場のふちに口をぶつけ、歯で下口唇をかむ。 投薬で眠らせての縫合（4針） 一週間後に再受診し、完治。ただし6か月間は様子を見る。	山陽小野田市 民病院	手押し車を使っている子どもを把握しながら前進する先をこちらが見通しながら広い場所へ誘導したい。
□	ゆり室内	食事の席に向かう途中、転倒し近くにあったテーブルの角で顔を打ち歯で舌を切る。 病院で縫合の処置を受け、一週間後に再受診の指示を受ける。 園では一週間はペースト状の柔らかい食事を取る。 1か月後完治	山陽小野田市 民病院	なるべく広い空間の確保に努めていきたい。

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
□	さくら室内	ソファーに園児が走って飛び乗った際に、木製の背もたれ部分で口をぶつける。 上前歯歯茎付け根、上唇の境目を裂傷。左上歯茎部分裂傷。出血あり。 (おそらく病院を受診) 翌日、同病院へ保護者に連れられて消毒処置と説明を受ける。 事故は土曜日の17:00に発生したが、翌週月曜日に顔面の腫れが見られた。 2週間後に完治。	スマイル歯科、小児歯科医院	かかりつけの歯科を希望されたが土曜日の夕方かつ、歯科学会のため休診の病院がほとんどで受診できる病院が限られた。
□	園庭汽車	汽車の連結部の段差に躓いて転倒する。 手にフープを持っていたため、両手をつくことが出来ず、下口唇を床に打ち付け、下口唇の内側を5mmほど歯で傷つけた。 傷が深かったため、病院を受診した。 縫合する必要はないとのこと。痛がる時用の痛み止めを処方される。 翌日は元気に登園してきた。	山口労災病院 (耳鼻咽喉科)	汽車の連結部の段差をなくす方法を考える。 両手にフープを抱えて汽車遊具では遊ばせないように注意する。
□	つき室内	自分のロッカーの前で男児とふざけていて、ロッカーに口をぶつけて歯茎に傷が出来る。 受診の結果、問題なしで自然治癒を待つ 父親に担任、副園長が報告すると、父親は「起きたことは仕方がないので、これから気を付けてもらうことを希望する」と返答あり。ただし、母親は前日、前々日にも事故が起きていたため受け入れられない様子。	山陽小野田市民病院	はき出し窓のサッシで小指を詰めた事故の翌々日の事故 転んで太ももにあざが出来た事故の翌日の事故
□	ロープウェイ	戸外遊び中、砦の下でロープウェイを待っているとき、後ろから別児とぶつかり、1m下に転落する。 口唇内側を切る。	ファミリー歯科	2006年度の事故
□	タイヤ (中)	タイヤ(中)より跳び箱のように飛んで転落する。 額にたんこぶ、口唇上部を切る。 1.山口労災病院を受診 2.山陽小野田市民病院を受診 3.山口大学医学部附属病院を受診の順で点々とする。 山口大学医学部附属病院(皮膚科)で5針縫合処置を受ける。	山口労災病院、 山陽小野田市民病院、山口大学医学部附属病院	2006年度の事故
□	汽車	汽車から転落し、口唇を切る 耳鼻科で診察を受けるが消毒のみ。(中耳炎があるため、そのための抗生物質を処方される)	山口労災病院 (耳鼻科)	2007年度の事故
□	ブランコ	ブランコ前の柵のところで転倒し、上口唇付け根を切る。 母親に連絡し、母に病院へ連れて行ってもらう。自然治癒を待つ。	おくはら歯科	2007年度の事故
□	園外	バス遠足できらら公園のアスレチック(約2m)丸太の段を降りていて転落。 歯のグラつきもなく、顎に傷はあるものの、そのまま過ごす。 夕方確認のため口の中を見ると、口の中を切っており傷が深いため受診。 4針縫合する。	山陽小野田市民病院(口腔外科)	2008年度の事故
□	黄色の滑り台	黄色いすべり台を逆から登っていて、滑って口唇を切る。 消毒のみで歯・顎に異常なし。化膿止めと痛み止めを処方される。	山陽小野田市民病院(口腔外科)	2008年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
□	砦	追いかけてこをしていて、砦の穴から転落（約1.3m）。鼻と口を打つ。 前歯茎に傷があるため念の為受診し、化膿止めを処方される。1週間後レントゲンを取るために受診する。	山陽小野田市 民病院（歯科 口腔外科）	2009年度の事故
□	園庭	戸外遊び中転んで前歯を丸太で打つ。 歯茎が傷になっているため、かかりつけの歯科を受診。問題なし。	黒石デンタルクリ ニック	2010年度の事故
□・顎	つき室内	室内でお手玉をして遊んでいるときに、遠くに飛んだお手玉を取ろうとしてバランスを崩し、机の角にぶつかる。 舌とあごが切れて出血する。 舌は自然に治るのを待つ。顎の傷は瘡蓋になるまでガーゼで抑えることにする。	山口労災病院 （耳鼻科）	お手玉をしているときは机を移動させたら良かった。
□・歯	黄色の滑り 台	4～5人で遊んでおり、滑り降りる際に団子状になって降りたため、上唇小帯を切る怪我をした。 上唇小帯の切断は浅いため、3日ぐらいで完治するとの診断で、薬の処方もなし。 鼻血と上唇の腫れあり。歯のチェックを下が異常なし。	山陽小野田市 民病院	—
□・歯	不明	お泊まり会の日、18:45頃に「なべなべそこぬけ」をしていた。 手をつないだまま口元を床に打ち付けてしまった。 上前歯の右側の歯が折れた。 上唇の打撲、出血があったが翌日には腫れが引いた。 右上前歯は折れた部分の歯をとって削って埋める。 当日はバナナのための夕食だったが、翌日から食べられるようになる。	スマイル歯科	お泊り保育で子どもたちもハイテンションになっていたもので、十分な配慮が必要だった。
□・歯	不明	朝、担任が来たとき担任のところへ走っていきこうし、床の上で転倒し口を打つ。 前歯が少し動き、口の中が切れているため、歯科を受診する。	ファミリー歯科	2006年度の事故
□・歯	アスレチック 遊具	戸外遊び中、別児と一緒に遊ぼうと追いかけた所、アスレチック遊具のはしご階段で歯を打ち、前歯が欠ける。 乳歯で、他に異常なし。	ファミリー歯科	2006年度の事故
□・歯	不明	自分で転んで室内の木製の椅子で前歯をうち、歯茎が内出血する。 歯がグラグラするので歯科を受診。レントゲンの結果、異常なし。 2日後、歯のグラつきが収まらないため、型をとって固定する治療を行う。 10日後型をはめて、事故の1ヶ月後に完治した。	ファミリー歯科	2007年度の事故
□・歯	アスレチック 遊具	戸外で鬼ごっこ中に他児とぶつかり、アスレチック遊具のロープの部分で顔をうち、口唇を切る。 上の前歯の歯茎が充血していたが歯に問題はなし。 口唇の消毒のため、月曜日に病院へ行く（？）	おくやま歯科	2007年度の事故
□・歯	不明	朝の戸外遊び中、転倒し口唇を打つが、血が止まったのでそのまま様子を見ていた。 夕方歯茎の傷が黒くなっていたため歯科を受診。 問題なし。	宮路歯科	2007年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
口・鼻	アスレチック遊具	アスレチック遊具上段、一本橋の横の隙間から下を覗き込んだ際に顔面から落下した。鼻血が大量に出て口の中も出血がある。鼻と唇を強く打ち腫れが見られたが、鼻血は5分ほどで止まる。病院を受診し、CT検査で鼻骨骨折がわかった	山陽小野田市市民病院（口腔外科）、山口大学医学部附属病院（医大）（口腔外科→耳鼻科）	すべり台の両サイド保育士がつくべきだった。少しずつ段階を踏んで遊びの危険性を子どもたちにも話す必要がある。
口・鼻	そらルーム	本棚と本棚の上に手をついてぶら下がろうとした所、手が滑り顔面から落下し、鼻と唇を打つ。レントゲンの結果、骨には異常なし。但し、腫れが酷いためしばらく冷やす。鼻血が出たため、傷からの炎症を防ぐ化膿止めを処方される。	田原耳鼻咽喉科医院	—
首	不明	男児が後ろから走ってきてぶつかった後、首を痛がる（9:30） 昼間で様子を見ていたが、痛がるため受診する。軽いムチウチと診断。2～3日の安静を指示される。	山口労災病院（整形外科）	2007年度の事故
腰	ランチルーム	バイキング中、腰に汁がかかり赤くなったので受診。 病院で薬を塗るのみ、変わったことがない限り問題なしと診断。	田村医院	2007年度の事故
鎖骨	タイヤの跳び箱	戸外遊びが始まり走ってタイヤの跳び箱まで行き、そのままの勢いでジャンプしようとしたが失敗した。 （足がタイヤを飛び越えておらず引かかった） 地面に激突した際に顎が鎖骨に当たって鎖骨を骨折する。 鎖骨を包帯で固定し経過を見る。その後2度通院し、1か月後に完治した。	松岡整形外科	行事（クリスマス会？）の時は、子ども達いつもより気持ちが高ぶっているので、気をつけなければいけない。
舌	ランチルーム	おやつ時間帯に席を離れていたが、「おかわり」の声に反応し、おかわりを貰おうと急いで座ろうとしたが、座り損ないテーブルにあたる。 その際に舌を噛んでしまい、出血する（上側4箇所、裏側1箇所） 翌日舌が化膿しているようなので受診するも問題なし。腫れが取れるのに2～3日かかる。	山陽小野田市市民病院（歯科）	—
手	ゆり室内	絵本コーナーに向かう途中、畳の上でつまずき転倒。 その時自分の体の下に左手が入り全体重がかかった。 その直後から痛みを訴えて泣き出す。 左手（甲）を右手でかばって使わなかった。 事故発生は10:50頃で夕方まで様子を見て、16:00頃受診する。 レントゲンで異常なし。	松岡整形外科	—
手・腕	園庭	夕方入室前のゲーム（3人1組）のかけっこで転倒。園庭に埋まっていた石で左腕を6cmほど切る。 8針縫合。	山口労災病院（整形外科）	2009年度の事故
手・腕	園庭	セミを追いかけていた所、ブランコの柵のところで転んで左腕を5～6cm切る。 打ち身もあったようで腫れていたため受診したが、消毒のみで終了。 翌日腫れがひどくなったため再受診したが、レントゲンの結果異常なし。	山陽小野田市市民病院（外科）	2009年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
手・腕	砂場	砂場で注意しているとき、のけぞり返ったのでそれを止めようと左手を引っ張った所（左肘輪状靭帯が外れかけ）いたがるので受診する。	山陽小野田市民病院（整形外科）	2009年度の事故
手・腕	鉄棒	一番低い鉄棒で逆上がりの練習中に手が滑り落下した。体の右側から落ち、右手に体重がかかったため、右手首を痛めた。 受診結果：右手首骨折、全治1ヶ月。ギプスで固定してもらい様子を見る	山口労災病院	子どもの発達や特性をしっかり踏まえ、事故防止に努めるべきだった。 他の職員も常に全員の子どもの動きを把握したり、声掛けを行い密に連携を持って保育にあたるようにする。 「事故防止のためのガイドライン」を活用したい
手・腕	築山・トンネル	冒険の森の築山で手を気にして、何かを振り落としている姿を見つけた。 側に行くと右の手元を気にしており、地面にムカデがいるのを確認した。 傷口を洗い流し、30分程度様子を見たが腫れが見られたので受診した。軟膏と飲み薬（3日分）を処方された。	ねもと皮膚科	山や木の下などに子どもがいるときは、特に5月などの時期は注意が必要。 このような場所を避けるか、直ぐ側に保育者を配置する。
手・腕	砦	虫取り網を持って砦に登っており、梯子のある穴開き部分に誤って落ちてしまう。 虫取り網を持っていたため、手をうまく付くことが出来ず右手の痛みを訴える。同時に右頬とあご、脇腹にも傷があった。 X線検査、視診で全て問題なし。落ちたショックが大きかったのではないかと診断	松岡整形外科	翌日に脇腹にも傷があったことがわかった。見ていないところでの転落は全身の確認が必要。 手の甲の痛みについてはもう少し様子を見てから受診を決めても良かったのではないかと思う。
手・腕	タイヤ	タイヤ（中）に立って飛び降りる際、着地にふらつき手を地面に付いた。そのときに小指に体重がかかってしまった。 そのことを知らずにそのまま帰らせて、本人が親に報告したことから、母親が病院へ連れて行く 少し腫れているようだが、打撲・骨折の心配なし。腫れが引くことを待つ。	不明	—
手・腕	スケーター	午前の戸外遊び中、スケーターに乗っていたが勢い余って転倒し、右手人差し指を詰めてしまう。 保冷剤で冷やし、湿布を貼り様子を見る。 徐々に黒くなり、爪の横から血が出ており病院へ行く。 化膿しており、毎日消毒のため通院する。	岡野整形	早い段階で園の方から病院に
手・腕	草スキー場	草スキー場を走り回っていて遊んでいた際に、坂を下る途中で転倒し左腕の一部（肘と手首の間）を痛がる。 腕がだらりと垂れて上にあげようとしなかった。 レントゲンで骨に異常は見つからなかったが、本児が痛がるので医者が処置せず湿布薬だけ処方され、翌日も痛がるようなら受診するように指示を受けた。 翌日腫れがあったため、まつおか整形外科でエコー検査を受けたが骨に異常無し。 関節が抜けていたので処置してもらい、5日間ギプスで固定するよう指示があった。	おもて整形外科 翌日：松岡整形外科	ダイナミックな遊びを楽しむ中でも安全の配慮に気をつけ、声をかけておけばよかった。
手・腕	そらルーム	マットに寝転がっていた被害児の腕に男児が乗った状態になった。 被害児が左肘を痛がり、脱臼の疑いがあるので病院を受診する。 （事故発生は18:55だったが、母親がひまわり会に出ていたため、かかりつけの小児科に連絡をとってもらい、受診してもらう） 診察の結果、脱臼していたが、肘を入れてもらったら痛みもまったくなく、翌日は元気に登園した。	富田小児科	紙芝居をしてあげようと考えて、子どもたちがざわついていたにもかかわらず、部屋を空けたこと、ひまわり会もあって人数も多かったのに、配慮が足りなかった。
手・腕	つき室内	椅子に座り立ち上がろうと机に手をおいたときに手をひねる。 その後おやつのときに手を痛がったので、受診する。 レントゲンで骨に異常はなし。エコーで確認した所、肘が抜けた状態（亜脱臼）だったため、関節を元に戻してもらい完治。	松岡整形外科	ひねったときに気付くことができればよかった。

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
手・腕	ゆり室内	本児が友達の持っていたおもちゃを奪おうとするため、引き離したが再び取りに行こうとするため「いけんよ」と手を持っていかせないようにしたが、本児も手を振りほどいて行こうとして、引っ張り合う形になった。 その後、朝のおやつを食べ部屋に戻った際「痛い」と左腕の痛みを訴え、様子を見ていると左手を動かさにくそうにかばっている様子が見られた。 エコーを撮ると肘の環状靭帯が本来の場所から引っ張って伸びた際に別の場所に引っかかって戻らない状態になっていた（亜脱臼）元に戻してもらったものの、翌日まだいたがる様子が見られたため再受診しレントゲン撮影したが異常なし。 その日の夕方にはよく動かすようになっており、家庭でも痛がる様子は無かった。	松岡整形外科	「こっちよ」と手を引くときには無理な力が加わることがないように気をつける。 本児は左肘脱臼したことがあり、抜けやすいということも頭に入れておかなければならなかった。
手・腕	つき室内	両手を広げて床に寝ころんでいるところを左手を踏まれ、その後痛がるようになった。 左手の肘あたりを痛がるので病院へ行く。 ひじの関節をはめる処置を受けると痛みもなくなった。 連絡を受けて駆け付けた母親と機嫌よく退園した。	岡野整形外科	駆けつけてきた母親は「状況が何もわからなくて…」というが、あとで確認すると職員からはきちんと伝えていた。 子供の怪我の状況を伝えるときには親の不安を理解して、パニックにならない伝え方を考える必要がある。
手・腕	不明	腕脱臼	瀬戸病院	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
手・腕	ほし室内	入室の際に先に入る入らないで問答となり、右ひじが抜ける	瀬戸病院	2006年度の事故
手・腕	ピラミッド型遊具	ピラミッド型遊具の頂上から飛び降りた際、バランスを崩して着地し、左手の骨にヒビが入る。 3週間ギプスを付ける。	山口労災病院	2006年度の事故
手・腕	つき室内	室内にて男児とふざけて戦いごっこをしているときに、腕を振った際壁にぶつけて右肘を捻挫する。	瀬戸病院	2006年度の事故
手・腕	れんげルーム	夕方遅番でれんげルームで遊んでいた際、本を持って転倒。 左肘を痛がるため受診。亜脱臼と診断。	山口労災病院	2006年度の事故 保護者が病院を受診させる。
手・腕	不明	おやつ後の散歩で転倒し、右腕の亜脱臼。すぐに入ったため問題なし。	岡野整形	2007年度の事故
手・腕	不明	クッキング（お芋のプレート焼き）のとき、ホットプレートに腕があたり、左腕に火傷（3cm程度） 全治2週間で毎日通院する。	不明	2008年度の事故
手・指	ほし室内	ほしぐみを片付けてそらルームへ移動するため、出入口のところに座っていたが、横にあった椅子を触ったようで、椅子が倒れ、その椅子で指を挟んでしまう。 （右手薬指） 爪が黒くなり、そのままなかなか変化が見られず1ヶ月以上経過する。 約1ヶ月後に爪が剥がれかけたので、母親が受診した。爪は自然に剥がれて新しい爪が生えてきていた。		事故発生時にきちんと処置できていなかったため、打ち身など経過を気をつけて見るようにし、初めの処置もしっかりしておくようにしなければと反省する。 ドアの開閉等でもケガに繋がりそうな場面が時々あるので、子どもたちに知らせながら事故防止していく

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
手・指	さくら室内	事故発生は土曜日16:00。 遅番でさくらぐみで遊んでいるとき、ままごとコーナーのキッチンの扉の中に丸くなって入っていた所、別の園児が開いていた扉を思いきり閉めた。 それにより左中指の先を詰めて、深く皮が剥がれ出血した。 傷が深いため病院を受診する。 塗り薬とカットパンの処置のみ。	宇部記念病院	扉の中に入ったときに、出るように声をかけたもののすぐに出なかったのを放っておいたのは問題があった。 事故の前に、被害児と扉を締めた児の間でトラブルがあり、事故はその延長で起きたとも言えるため、きちんと解決しておくべきだった。 土曜日の午後だったため、119番で搬送先の病院を確認したが、受け入れに時間がかかりかかった。
手・指	不明	年齢別でクッキング（スイートポテト）をしているとき、包丁でさつまいもを切り終わった後左人差し指を包丁で切る。 1週間は消毒のために通院する事になった。 翌日に皮が癒合する。 5日後には完治した。	山陽小野田市市民病院	さつまいもを切り終わった後も包丁を置くまで注意して見るように気をつける。
手・指	不明	砂で遊んでいるときムカデ（3cmくらい？）に左手指と手の腹をかまれる。 担任が見た時には指にかみついていたので流水で応急処置をする。 念のために、西村医院で受診する。 冷やすように指示があり、塗り薬を処方される。	西村内科医院	—
手・指	つき室内	入室時にはき出し窓のサッシで左手小指を詰め、爪が内出血したので、シップをつけて帰宅する。 別児が故意にはき出し窓を閉めたため事故発生。 事故当日は祖父お迎えだったため、担任が母親に電話したところ、傷を見て驚いたと心配している様子だった。翌日母からも「安全には十分気をつけてほしい」と連絡ノートにコメント有。 自分で転んで太ももにあざが出来たことと、遅番が迎えの時に父親に報告したが、挨拶なしで帰る。	—	ロッカーで男児とふざけて歯茎に傷が出来た事故の前日、前々日に起きた事故
手・指	不明	右手の人差し指と中指の付け根の骨にひびが入る	不明	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
手・指	廊下	廊下の柱のところで指をぶつけた。その日は湿布をして帰宅。 翌日指が腫れ、紫色になっているので受診。レントゲンの結果、問題なし。	岡野整形	2007年度の事故
手・指	ほし室内	食後の室内遊びのとき、牛乳パックを使って製作中、ハサミで左手親指の付け根を1cmくらい切る。 2針縫合処置。	山口労災病院（整形外科）	2008年度の事故
手・腕	ほし室内	昼食前に室内で集まり、話しているときに、本児が一人で後ろの方の机の横に座っていた。 事故発生の状況を保育者は見ていないが、そのときに机に肘をぶつけたようで、休に痛みが開始した。その後も触ると痛み、腕が曲がらないため、病院へ行く。 レントゲン・エコー撮影をし、腕をはめて治療終了。その後はいたがることもなく、曲がるようになった。	松岡整形外科	ぶつけて腕が抜けることはないとのこと。 他の原因で腕が抜けていると思われるが、状況をあまり把握できていなかったため、以後気をつける。
歯	ウッドデッキ	友達と下駄箱の掃除をしている際に、トイレに行こうとして立ったときに歯をぶつけた。 前歯の角が欠けた。 レントゲンの結果、歯根には異常なし。欠けた部分を削って調整する。 仮に歯の神経が死んでいたとしたら、2～3ヶ月経過後に歯が黒くなったりすることがあるかもしれないが、その可能性は低い。	宮路歯科	先生の目が行き届かないところには行かないように気をつける

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
歯	園庭	戸外遊びの際に、顔から転んでしまい口の中と口の周りを擦りむく。 前歯が欠けているようだったため、受診した。 歯は少し欠けているようだったが、神経に異常はないことがわかった。	スマイル歯科	転んでしばらくしてから欠けていることに気づいたため、すぐに口の中の細かいところを確認すべきだった。
歯	? 室内	長い筒を持っていた子が他の子に引っ張られ、その際に隣りにいた被害児の口元に筒が当たった。 前歯の上2本と下1本がグラグラし、出血。しかし、グラグラしているのは元からしていたようである。 スマイル歯科は人が多かったので、翌日母の妹が岡田歯科につれていく 下の歯は永久歯が生えてきているので、抜歯する ほかはまだ痛みがあるようだったら通院する（数日経過しても痛みはない様子）	岡田歯科	保護者への伝言を聞いている時間（17:00）だったので、その時間も子どもたちへ目を向けていくようにする。
歯	ロープウェイ	ロープウェイで遊んでいたところ、降りたときにロープウェイが前歯の歯茎に上がり、青くなって血が出ていたため、病院へ連れて行った。 歯への影響は無いが、打撲のようにになっているため痛み止めが処方された。現在通院中だったため、次回の通院日に様子を見てもらう。	にっさん歯科	本児もケガをしてすぐに保育士に言い出せなかったようで、気付くのが遅れてしまった。 戸外遊びのときには目が届きにくいこともあるので、保育士同士が声を掛け合い、しっかりと見守れる体制を作っておきたい。
歯	ゆり室内	夕方の戸外遊びの後室内でお茶を飲む際に座ろうとしてバランスを崩し、背もたれで前歯を打つ。 レントゲンでは折れているかわからないため、固める薬を塗って経過観察する。 硬い食材は念の為避ける。 事故は5月に発生し、10月末に完治する。	スマイル歯科	迎えの準備などで保育者もバタバタしていたため、ゆりの持てる声掛けを気をつけたい。
鼻	—	戸外で砂を投げたり投げられたりしてふざけて遊んでいる際、鼻の中に小石が入り詰まってしまう。鼻の中を覗くが見えず、鼻をかんでも出てくる様子がない。 泣くほどではないが痛がるため、念の為病院を受診する。 3~4mmの石（真砂土の中に混じったもの）が右鼻より見つかる。念の為、鼻腔内をカメラで見た所傷もなく心配ないとのこと。 左鼻も小さな砂のようなものが付着していた。カメラを嫌がり暴れた際に鼻血が出たがすぐに止まる。	山陽小野田市 民病院 耳鼻科	母親の努める病院だったため助かる。 安易に保育園側の勝手な判断をするのではなく、見えない部分なので、このようなケースの場合は受診が望ましい。
鼻	グローブジャングル	三輪車をスケーターのように乗っていた所、前を見ておらずグローブジャングルにぶつかり、鼻を打撲した。 鼻の中央に腫れがあった。 骨には問題なく、1週間ほど腫れが引くまで様子を見る。	山陽小野田市 病院（歯科）	三輪車をスケーターのように載っても、今までは特に声をかけていなかったが、きちんと乗り方を知らせるようにしたい。
鼻	不明	鼻水を拭いてあげようと顔を傾けた際、ティッシュが入っていることに気がつく。 その前に本児がティッシュをこより状にして鼻に入れているのを見て「ダメよ～」と注意程度で見えていたとのこと。 家庭でも園でも痛みなどもなくその日から変わりなく過ごしている	タハラクリニック	鼻を拭いたり噛んでいる子どもの様子など気をつけながら見届けようとする。
鼻	築山・トンネル	戸外遊び中、冒険の森の小山から走り降り、他児とぶつかる。 鼻血が抜け、痛がるため受診する 異常なし。	山口労災病院	2006年度の事故
鼻	ウッドデッキ	夕方戸外より入室時、つきぐみ前のマットに躓いて転倒。ウッドデッキの角で鼻側面を強打。少量の鼻血と傷、腫れのため受診。 視診の限りでは骨に問題なし。 翌日打った場所が青くなり、腫れがひどくなった上微熱が出たため、母が瀬戸病院でレントゲン撮影する。 その後田原耳鼻科を受診するも、腫れが引かないとわからないとの回答。	山陽小野田市 民病院（耳鼻科）	2008年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
鼻	不明	一緒にダンゴムシを見ていて、女兒が本児の鼻の中にダンゴムシを入れ取れなくなった。 胃の方に入ったようで異常なし。	田原耳鼻科	2009年度の事故
額	ほし室内	棚の上からジャンプしようとして足を滑らし、隣の棚の側面に右おでこを打つ。 2～3cmのたんこぶと2cmくらいの擦り傷ができる。 すぐに母親に連絡を取り、様子を見ながら迎えを待つことにし、念のために母親が病院へ連れて行くことになった。 レントゲンでは異常なし、消毒のみの処置。翌日も元気に過ごしたとのこと	井上脳外科	絵本コーナーのソファの横に棚を置き、棚に登りやすかった。 すぐにソファの位置を変え、事故防止に努めた
額	園庭	園庭の水道のくぼみに足を取られ、手がつけずに額を地面に打ち付ける。小石が食い込む。 消毒、薬を処方されるのみ。	瀬戸整形	2007年度の事故 その日、山口労災病院は急患のため受け入れてもらえず、母親の努める瀬戸病院を受診した。
額	園庭	鬼ごっこするとき、男児にタッチされた際木にぶつかりたんこぶと右手親指の腫れと内出血。 骨には異常なし、たんこぶも問題なしと診断。	岡野整形	2007年度の事故
額	そらルーム	戸外より入室後、室内遊びのとき、男児とカエルのブロック（木製）で仲良く遊んでいたが、カエルのブロックで額を叩いて切れる。 傷は小さいが深いため受診する。テープで処置し、2日間通院して完治する。	山陽小野田市 民病院（外科）	2008年度の事故
額	さくら室内	遅番でさくらくみへ移動後、転倒し、テーブルで額を打ち切る。 出血がひどかったが、消毒で終わる。	山陽小野田市 民病院（脳外科）	2008年度の事故
不明	不明	不明	中村病院	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
不明	不明	不明	山口労災病院	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
不明	砦	砦の穴の部分（高さ1m）から転落。左上あたりが少し赤くなるが、様子を見る。 昼食をとらずに寝たため、念のため受診する。 レントゲン、CTで異常なし。	山口労災病院	2006年度の事故
頬	園庭	鉄棒の当たりで遊んでいるとき、何かの虫が顔にぶつかってきた。 本人は「おでこ」と言ったり「ほっぺ」と言ったり確認が難しく、直後は腫れもなく、刺し傷もなかったが10分後ぐらいから右頬が腫れだした。 最初は右頬から右目あたりの腫れだったが、びよ湯員から戻り、食事、午睡が終わり、14:30ごろから左目あたりにも腫れが広がっていた。 病院へ電話で確認したところ、「体に湿疹がでなければ大丈夫」とのことだったので、経過を見ることとした。 かゆみ止めの飲み薬と塗り薬を処方される。 本人にはかゆみ・痛みなどの症状は見られない。 事故の翌日・翌々日はまだ腫れが目立ったが、3日後ぐらいから腫れはだいぶ引いてきた。	永井皮膚科	事故直後の確認では異常が分からずびっくりして泣いているのかと思っていたが、毛虫・イラ・蛾のような虫だったのでと思う。

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
頬	つき室内	被害児がバランスタワーと動物かたを混ぜて遊んでいたところ、別児が「混ぜて遊んではいけない」と注意した。それに腹を立てた被害児が別児の頬を引っ掻き、別児も被害児の頬を引っ掻き返したところ、被害児の右頬と左顎に少し深い傷が残ってしまった。 翌日母親から「化膿したため、病院へ連れて行った」と報告を受けた。 3ヶ月間はテープを貼って治療する。	新生皮膚科	ひっかきが一瞬のことで止められなかったので、日頃から爪のチェックなどをしっかりと行い、引っ掻いてはいけないことを伝えていくことが大切だと思った。
耳	ほし室内	部屋遊びの片付けのとき歩いていたら転び、近くにあった机の角に耳をぶつけて左耳の上部の表と裏を切る。 田原耳鼻咽喉科医院では縫合できないため、ジョイ皮膚科クリニックを受診したが、傷は耳を貫通していなかったため、縫合せず	田原耳鼻咽喉科医院、ジョイ皮膚科クリニック	机を室内の4箇所においていたため、通路が狭く障害にもなるため、保育室の真ん中に大きい通路ができるように机やものの配置を変えた。
耳	ぞうの滑り台	戸外遊び中、ゾウの滑り台からバランスを崩して滑り落ち、右耳を角で打ち付ける。 耳付け根部分が切れる。 念のため受診し、耳鼻科で対応を受ける。	山口労災病院（耳鼻科）	2006年度の事故
耳	ほし室内	夕方みんなで先生の話聞くために座っていた際、お迎えの対応中他の子どもが本児の右耳に木の棒（15cmくらい）を興味本位で入れたところ、本児が泣き出した。 泣いたときがちょうどお迎えのタイミングだったので、様子を知らせて送り届ける。 事故が金曜日だったため、週明けの月曜日に耳鼻科を受診したところ、鼓膜が破れていたことがわかった。 自然治癒を待つこととなった。	不明	2006年度の事故
耳	ゆり室内	おやつするとき、保育士と接触し転倒。椅子の角にぶつかり耳を切る。 病院を受診するがテープで対応するのみ。	山口労災病院（耳鼻科）	2006年度の事故
耳	不明	戸外遊び中、左耳に自分で「丸いの入れた！」と報告に来たので、様子を見たが、手で触って気にするので受診何も確認できず、問題なし。	田原耳鼻科	2007年度の事故
耳	もも室内	ままごとコーナーのお手玉の中の小豆が落ちていたものを耳に入れる。 受診し、小豆が半分に割れたものが入っており、すぐに取ってもらい、問題なし。	田原耳鼻科	2010年度の事故
胸	砦	砦階段部分（2段目）より落下。左胸と脇を打つ。 念の為受診する。レントゲンでは異常なし。 湿布を処方される。	瀬戸病院	2006年度の事故
目	砂場	砂場で穴を掘っていたところ、他児？のスコップの砂が目や口元にかかった。 発見後砂をすぐに払い、目を水で洗う。 黒目の下に少し赤みが残っていたのでお迎え時に保護者に伝え、様子を見てもらう。 翌朝、目やにで目が開かない様子で、登園時も目やにが多く、白目が充血していたため、通院する 眼球には傷がないことがわかり、点眼薬で様子を見る。	長谷川眼科	傍らで見守り、防止を心がけていきたい 保護者への対応として、早出の職員に伝言しておき、様子を聞いておいてもらう必要があった
目	ほし室内	友達同士がふざけあって遊んでいる横を被害児が通りかかり、友達の指が目当たった。 右目眼球の黒目の部分に傷が出来た。4～5日で完治するとの診断を受け、目薬を処方される。	長谷川眼科	—

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
目	? 室内	室内遊びで被害児を含む女の子数名がおまごとコーナーで遊んでいた。 女兒がフォークを手持って近寄り、被害児のお腹と右目の目尻あたりを刺した。 事故の瞬間は見えていなかったが、周囲の子どもの話から事故の状況がわかった。 保育者は少し離れたところで座っていたが、言い争いもなく前兆のようなことはなかった。 刺された瞬間目は閉じていたようだが、白目の充血が引かず、傷があるようだった。 2～3日すると充血はなくなり、病院でも2～3日すれば大丈夫との診察だった。	いとう眼科	室内ではみんな落ち着いてそれぞれに遊んでいたので安心していましたが、日頃から刺した女兒は手がとっさに出る事が多いため、気をつけておくべきだった。
目	不明	左目瞼打撲	長谷川眼科	2004年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
目	不明	白目に他児の持っていた色鉛筆があたり、充血する	長谷川眼科	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
目	不明	白目に他児の持っていた色鉛筆の頭の部分があたり、充血する	伊藤眼科	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
目	不明	カードが下瞼中に当たり、少し傷が出来る。	伊藤眼科	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
目	不明	左目瞼切り傷	山口労災病院	2005年度の事故。詳細な記録は残っていないが、事故記録として残してある。
目	不明	泣いて目をこする。 しばらく様子を見たが、左目を痛がるので受診する。 眼球に少し傷がついていた。	長谷川眼科	2006年度の事故
目	園庭	戸外遊び中、別児の指の爪が左目（白目）に当たり傷がついた雨、眼科を受診する。 目薬のみ処方され心配なし。	長谷川眼科	2006年度の事故
目	不明	戸外遊びから入室時、右目の内側が赤くなっているのに気づき受診する。 本児は泣いたりしなかったため、保育士は気が付かなかった。受診したら、白目と黒目にも少し傷が入っていたことが分かり、抗菌目薬で様子を見ることとする。	長谷川眼科	2007年度の事故
目	つき室内	室内にて、お集まりをして職員を待っているとき、場所の取り合いのトラブルが始まる。 その際に他児の指が目に入り傷がついたため、念の為受診する。 傷は浅いが1週間後再受診する指示。	長谷川眼科	2007年度の事故
目	ランチルーム	おやつするとき、テーブルの名前が入ったフォルダを友達同士手で渡して遊んでいるときに、フォルダの角が左目に当たる。 黒目の皮がめくれて白目に少し傷が付いた。視力に異常なし。目薬で治療する。	長谷川眼科	2007年度の事故
目	もも室内	室内遊びのとき、遊びに入れてもらえなかった女兒Aに女兒Bが腹を立て、女兒Aを叩こうとしたら本児の目に入った。 事故は9:30頃発生したが、午後になっても痛がるため眼科を受診。 目に傷がついているものの、心配ないとの診断で、目薬を処方。	長谷川眼科	2007年度の事故

ケガの場所	発生場所	症状・事故の状況、治療の経過など	通院先	気づき・備考
目	自動車	戸外遊び中、自動車の下で遊んでいたとき、自分の不注意で目に泥が入った。 流水で洗ったが念の為眼科を受診。 傷が入っているが、2日ぐらいで完治するとのこと、目薬を処方される。	長谷川眼科	2007年度の事故
目	そらルーム	16:30そらルームへ移動後、自分のズボンで滑って転倒し、机の角に目尻をぶつけて切れる。 目には異常なし、テープで処置。	山口労災病院 (眼科)	2008年度の事故
目	黄色の滑り台	すべり台から飛び降りる。降りる際に木の枝で左目まぶた上を1cmほど切り、膝で鼻をうち鼻血が出る。 その後の経過は不明。	長谷川眼科	2009年度の事故
目	不明	夕方の入室前、男児の投げた砂が目に入る。洗って取れた様子で充血もなかったので帰らせる。 帰宅後母が病院へ行くと砂が残っており洗って処置してもらう。	長谷川眼科	2010年度の事故
ー	園外	園に送り届けた母親とバイバイした後、門扉を開けて園外に出て、車を追って脱走する。 巨橋あたりで泣いている本児を近隣の方が保護し、園に電話連絡を入れてもらったため、職員2名が迎えに行く。 副園長から近隣の方にお礼の電話を入れる。	ー	防犯カメラで確認した内容 9:32 母が門扉より出る 9:33 本児が門扉より出て、駐車場に走って行き、車を追いかけていく姿有り 10:10 近隣の方から電話を受ける
ー	ばら室内	発熱38.7℃の耐え、母へ連絡。 16:00頃、様子がおかしい（一点を見つめ反応なし）、足先の痙攣に担任が気付く。 16:05母到着。山陽小野田市民病院へ電話し、救急車を要請。 16:10頃泣き出すが足の硬直は残る。 16:15救急車到着、母同乗して通院。中耳炎の熱による硬直型痙攣との診断。	山陽小野田市民病院（小児科）	2008年度の事故